

## ◆ 卒業生紹介

各界でご活躍される卒業生をご紹介します。

### 渭水会

#### 野口 幸司      のぐち こうじ

徳島新聞 NIE（Newspaper in Education）コーディネーター  
徳島県教育委員会学校訪問指導員

1959 年 木屋平村生まれ

1981 年 徳島大学教育学部中学校教員養成課程卒業（教育学士）

#### 【職歴】

1981 年 鴨島町鴨島小学校教諭

1986 年 鳴門教育大学学校教育学部附属小学校教諭

2008 年 鳴門市里浦小学校教頭

2015 年 三好市政友小学校校長

2019 年 徳島新聞メディア 徳島新聞 NIE コーディネーター

#### 【役職】

2014 年 日本新聞協会 N I E アドバイザー

2015 年 徳島 N I E 研究会会長

2016 年 徳島県小学校教育研究会国語部会会長、四国国語教育連盟会長



小学校教員として 38 年間、国語教育に取り組んできました。1995 年に徳島県小学校教育研究会事務局長として県研究主題に導入した単元学習の理念は、今日も引き継がれています。単元学習の開拓者である大村はまの学習記録が、東京ではなくこの徳島に残されていることに大きな意義を感じます。大村はまの師である芦田恵之助の追悼集会として始まり 68 年の歴史を持つ教壇研修大会では、2008 年以来 2018 年まで毎回管理職教壇で授業を公開してきました。芦田恵之助から大村はまへと引き継がれ、徳島に根付いた教壇尊重の精神を絶やすまいと願ったからに他なりません。

新任校長として勤めた三好市政友小学校は全校児童 5 名の県下で最も小さい学校でしたが、テレビ会議システムによる遠隔合同授業など、最先端の教育環境を整えました。最後の 6 年生 4 名は、市陸上運動記録会に 3 名が入賞、全国青少年読書感想文コンクールで最優秀

の内閣総理大臣賞を受賞するなど、運動にも学習にもすばらしい結果を残しました。彼らの卒業によって在籍0となり、同校は休校となりましたが、母校木屋平村川井小学校での体験や半田町大惣小学校での僻地勤務の経験を生かすことができ、教師としての幸せに出会えた2年間でした。

吉野川市飯尾敷地小学校に勤務していた2007年、認知症のお年寄りを招いて戦争体験を語ってもらう授業が毎日新聞の1面に大きく取り上げられたのをきっかけに、新聞を教育に活用するNIEに取り組むようになりました。定年退職後の2019年からは、徳島新聞NIEコーディネーターとして、出前授業と記事作りにこれまでの経験を生かしながら、新たな挑戦を続けています。